



としょかんひろば

本と出会い、人と出会い、仲間が生まれる図書館 2020年12月 第235号

Books are for all 東近江市立永源寺・愛東・湖東図書館

** 図書館カレンダー **

■はお休み（第4金曜日は原則整理休館日）

永源寺
愛東

12月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

1月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

湖東

12月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

1月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

** 映画会 **

<永源寺図書館>

12月19日(土) 14:00~15:45 「第三の男」(洋画/字幕)

<湖東図書館>

12月12日(土) 14:00~16:10 「学校」(邦画)

展示 **ボクの放課後**(西條由紀夫さん)

12月2日~17日 永源寺図書館

** ごぞんじですか **

インターネットで、図書館の資料を検索したり
本や雑誌のバックナンバーを予約することができます。
右のQRコードから、図書館ホームページにアクセス
してみてください。

※予約には図書館で発行するパスワードが必要です

各館の開館時間・連絡先

永源寺図書館 開館：10時~18時
tel:0748-27-8050 IP:050-5801-8050
fax:0748-27-8090

愛東図書館 開館：9時~17時
tel:0749-46-2266 IP:050-5801-2266

湖東図書館 開館：10時~18時
(木曜日のみ20時まで)

tel:0749-45-2300 IP:050-5801-2300
fax:0749-45-3343

図書館ホームページ→



あたらしくはいった本（永源寺・湖東・愛東図書館に入った主なものを紹介します）

くらし・健康

火災・地震保険とお金の本	石川 英彦／(他)著	自由国民社
妻に言えない夫の本音	朝日新聞「父親のモヤモヤ」取材班／著	朝日新聞出版
夫を変える！魔法の言い方	佐藤 律子／著	自由国民社
こころと身体の心理学	山口 真美／著	岩波書店
誰でも使える！病気・けが・救助の英・中会話表現	アルク文教編集部／編	アルク
いちばんわかりやすい過敏性腸症候群		河出書房新社
食べることと出すこと	頭木 弘樹／著	医学書院
家族がメンタル疾患になったときに読む本	橋 いづみ／著	産業能率大学出版部

『もてなしとごちそう』 中村安希／著 大和書房

この本を軽い紀行文やグルメエッセイと思って読むと裏切られます。訪れた世界の国々で、現地の人と心を通わせて食べさせてもらった、もてなしの食事の数々。著者の経験とカンで知らない人にもついて行き、ごちそうしてもらおうその料理のおいしそうなこと！日本では食べる機会のないものも多く、例えばジャマイカのアキーという黄色いとんがり帽子のような果実は、野菜や魚と一緒に加熱調理して食べるそうですが、どんな味が想像もつきません。救いようのない環境にあるミャンマーのロヒンギャ難民にも、著者はもてなされます。政情不安な国や、貧しい国にあっても、一筋の希望を感じさせてくれる本です。



こどもとあそぶくらす	きなこ／著	KADOKAWA
「世帯分離」で家計を守る 改訂版	太田 哲二／著	中央経済社
着物の国のはてな	片野 ゆか／著	集英社
家庭科3だった私がバッグも帽子も小物も100%自分サイズで手作りしました。	津田 蘭子／著	ワニブックス
糸で咲かせる花模様＊リフ編みのあったかこもの		ブティック社
朽ちてなお美しいドライポタニカル入門	小野木 彩香／著	エクスナレッジ
ちょっと作ってみたくなる大人のかしこい手抜きごはん	奥蘭 壽子／著	学研プラス
本当はごはんを作るのが好きなのに、しんどくなった人たちへ	コウ ケンテツ／著	ぴあ
農家が教えるゆずづくし		農山漁村文化協会
伝え継ぐ日本の家庭料理 年取りと正月の料理	日本調理科学会／編	農山漁村文化協会

社会・教育・福祉

『いまはそれアウトです！ 社会人のための身近なコンプライアンス入門』 菊間千乃／著 アスコム



コンプライアンスとは、法令遵守。しかし、著者は、法律を守るだけでなく、社会のルールや社会人として求められる行動規範も大事だと言います。例えば、会社の宴会で若手に余興をさせる。ネット上の写真を勝手に使う。このような「昔はこんなことぐらい大したことなかった」「少しくらいならバレないから大丈夫」、そんな意識のまましていると、会社の中で懲戒処分を受けよう事態に発展することがあるかもしれないのです。本書では、やってしまいがちな86の「アウト！」を紹介します。

王女物語	マリオン・クローフォード／著	みすず書房
SNS暴力	毎日新聞取材班／著	毎日新聞出版
嫌われるジャーナリスト	田原 総一郎／著	SBクリエイティブ
認知バイアス	鈴木 宏昭／著	講談社
ぼくは縄文大工	雨宮 国広／著	平凡社

民主主義とは何か
 ジョン・ボルトン回顧録
 ルポ入管
 買い物難民対策で田舎を残す
 学校も地域もひらくコミュニティ・スクール
 障害の重い子どもの発達と生活
 幻のアフリカ納豆を追え！

宇野 重規／著
 ジョン・ボルトン／著
 平野 雄吾／著
 村上 稔／著
 宮崎 稔／著
 細渕 富夫／著
 高野 秀行／著
 講談社
 朝日新聞出版
 筑摩書房
 岩波書店
 農山漁村文化協会
 全国障害者問題研究会
 新潮社

自然・ビジネス・産業

科学の名著50冊が1冊でざっと学べる
 化学の目で見る気体
 47都道府県知っておきたい気象・気象災害がわかる事典
 標本バカ
 びわ湖の畔のニホンミツバチ

西村 能一／著
 齋藤 勝裕／著
 三隅 良平／著
 川田 伸一郎／著
 尼川 タイサク／著
 KADOKAWA
 技術評論社
 ベレ出版
 ブックマン社
 彦根:サンライズ出版

『新型コロナに立ち向かう100の技術』 日経BP/編 日経BP

世界を革新させる可能性を持った新技術をビジネスの視点から紹介するシリーズ、「日経テクノロジー展望」。2016年から「世界を変える」「世界をつなぐ」等と冠して出版されてきましたが、今年はこのタイトルになりました。今最も切望されているワクチンや治療薬はもちろん、医療や介護現場でのロボットの活用、インターネットによる非接触の技術に注目の集まっていることがよくわかります。興味深かったのは「婚活」といった、本来オンラインに向かない活動にも変容が生じていることです。以前から婚活アプリは注目されていましたが、ライトユーザーが減り、「恋愛や結婚に真剣な層がメンバーに残っている」とのこと。2021年がどんな年になるのか、この本を読みながら考える年末年始……というのはいかががでしょうか。

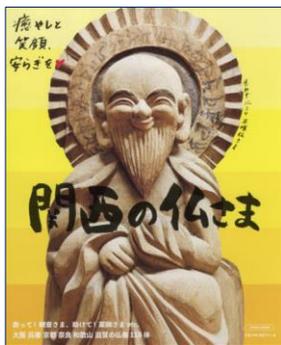


テレワークの労務管理のツボとコツがゼツタイにわかる本
 Excelで学ぶ管理会計
 消える地銀生き残る地銀
 これならわかる建築確認申請
 最新二次電池が一番わかる
 農業用語の基礎知識
 なぜ、あそこの6次産業化はうまくいくのか？

寺林 顕／(他)著
 長坂 悦敬／著
 野崎 浩成／著
 上野 タケシ／(他)著
 白石 拓／著
 藤重 宣昭／著
 井上 嘉文／著
 秀和システム
 オーム社
 日経BP日本経済新聞出版本部
 ナツメ社
 技術評論社
 誠文堂新光社
 大学教育出版

芸術・趣味

『関西の仏さま』 京阪神エルマガジン社



ひとことで仏さまといっても、いろいろな顔があることに気づかされます。表紙ののっこり笑顔の仏さまは、日本全国を旅しながら仏像を刻み続けた江戸時代後期の遊行僧、木喰上人ゆぎようそう もくじまによるもの。そのおおらかな笑顔に頬を緩ませページを繰っていくと、心癒される関西の仏像、118体が紹介されています。穏やかで気品あふれる観音様を拝見していると静かで安らかな気持ちになりますし、個性的で人間味溢れる表情の石仏さまは、身近な誰かに似ているようで親近感が湧きます。東近江からも、五個荘にある石馬寺の「大威徳明王牛上像いしばじ だいていどくみょうおうぎゆうじようぞう」が「隠れた名刹の迫力ある仏さま」として紹介されています。

博物館ななめ歩き
 電柱マニア
 見たい！聞きたい！透明水彩！
 レンズ1本で撮るフォトレシピ

久世 番子／著
 オーム社／編
 あべ としゆき／著
 野寺 治孝／著
 文藝春秋
 オーム社
 日貿出版社
 技術評論社

にっぽんの美しい民藝
紙のパッチワーク
落語はこころの処方箋
より良い動きのためのカラダの意外な見方・考え方
焚き火の本

萩原 健太郎／著
堀込 好子／著
立川 談慶／著
林 好子／著
猪野 正哉／著

エクスナレッジ
日東書院
NHK出版
ビーエービー・ジャパン
山と溪谷社

ことば・文学・小説

本と体
未来のサイズ
武漢日記

高山 なおみ／著
俵 万智／著
方方／著

アノニマ・スタジオ
角川文化振興財団
河出書房新社

『ハグとナガラ』 原田マハ／著 文藝春秋

30代後半で恋と仕事を失い、目の前が真っ暗になったハグに「旅に出よう。人生を、もっとあがこう」と声をかけてくれたのは、大学時代の親友ナガラでした。二人は季節ごとに旅を楽しみ、いつしか50代に。親も年老い、周囲の環境は少しずつ変わっていきます。ままたまらない毎日に悩むことは多くても、美しい景色やおいしい料理を楽しむ気の置けない友人との旅は、何よりも二人の心を癒し、元気づけてくれるのです。

読むと思わず自由な旅への憧^{しょうけい}の念を抱きますが、こんな時代だからこそ、本の世界への旅を思いきり楽しむのもいいかもしれません。



『えにし屋春秋』 見合いの前日に姿を消した娘の祈りとは。「縁」を商う人々の物語
『海神の島』 一騎当千の三姉妹が海神の秘宝を巡り日本と台湾を縦横無尽に疾駆する
『夢七日夜を昼の國』 長い眠りにある者へ語るは言葉、悲恋を閉じ込めるのも言葉
『ママナラナイ』 心も体もままたまらない人々を描く、美しくも不穏な10の物語
『犬がいた季節』 高校に迷い込んだ子犬は、18歳たちの逡巡と決意を見つめてきた
『影に対して 母をめぐる物語』 真に母を棄て、母と別れられる者はいない。未発表作
『とわの庭』 何があっても、前を向いて生きる。草木や花々、鳥たちの声に守られて
『真景累ヶ淵』 因縁因果の絡み合うこの世とあの世。円朝の創作にして名作を小説化
『祇園白川小堀商店いのちのレシピ』 非凡な舌の持ち主がとびきりのレシピを収集
『日没』 小説家のもとに届いたのは政府組織「文化芸芸倫理向上委員会」からの招待状
『夢屋台なみだ通り』 河岸の裏通りに並ぶのは蕎麦屋に寿司屋、天麩羅屋におでん屋
『イノセンス』 かつて「過ち」で世間に責められた少年は、心を閉ざした青年になった
『帝都争乱 サーベル警視庁2』 明治38年、ロシアに勝ったと喜ぶ国民に冷や水が
『アンと愛情』 おいしいおやつ、広がる世界。大人気和菓子ミステリ、シリーズ第3弾
『いつの空にも星が出ていた』 一見つながりのない人々を結ぶ「好き」という気持ち
『同姓同名』 彼らは、不幸にも殺人犯と同姓同名であった。人生を穢された彼らは……
『夜明けのすべて』 病気を抱えた不器用でおせっかいな同僚どうしの優しい物語
『白子の柚子釜 一膳めし屋丸九4』 元亭主の気配を感じ不安がるお栄。一方お高は
『滅びの前のシャングリラ』 ひと月後、小惑星が衝突する。滅亡を前にした幸せとは
『きのうのオレンジ』 胃がんの宣告を受けた男。登山靴が生きる力を呼びさます
『へんろ宿』 わけありの旅人を迎え入れ、安い宿賃ながら心をこめてもてなす夫婦
『孔丘』 孔子もまた人間だった。母の死、息子との対立、老境の旅路。波瀾万丈を描く
『湖の女たち』 琵琶湖近くの介護施設で、百歳の男が殺された。満州に沈む過去とは
『ニッポンの違和感』 この国のあらゆる「しっくりこない」を提示する人気コラム
『「グレート・ギャツビー」を追い』 大学図書館から直筆原稿を盗み出したのは
『アルベール・カミュ ペスト』 不条理に向き合う人々。NHK「100分de名著」書籍版

あさの あつこ／著 角川春樹事務所
池上 永一／著 中央公論新社
いとう せいこう／著 文藝春秋
井上 荒野／著 祥伝社
伊吹 有喜／著 双葉社
遠藤 周作／著 新潮社
小川 糸／著 新潮社
奥山 景布子／著 二見書房
柏井 壽／著 新潮社
桐野 夏生／著 岩波書店
倉阪 鬼一郎／著 光文社
小林 由香／著 KADOKAWA
今野 敏／著 角川春樹事務所
坂木 司／著 光文社
佐藤 多佳子／著 講談社
下村 敦史／著 幻冬舎
瀬尾 まいこ／著 水鈴社
中島 久枝／著 角川春樹事務所
凧良 ゆう／著 中央公論新社
藤岡 陽子／著 集英社
藤原 緋沙子／著 新潮社
宮城谷 昌光／著 文藝春秋
吉田 修一／著 新潮社
松尾 貴史／著 毎日新聞出版
ジョン・グリシャム／著 中央公論新社
中条 省平／著 NHK出版

ほかの図書館で所蔵している本や貸出中の本には、予約ができます。くわしくはもよりの図書館へおたずねください。